

電子出版システム
印刷データ作成機能マニュアル

Version 1.0.0 - 2010.02.26

1.概要	3
2.事前準備	3
3.全体説明	4
4. OJS での作業	4
4.1. OJS へのログイン.....	5
4.2. キャッシュのクリア.....	6
4.3. エクスポート用雑誌選択.....	7
4.6 XML エクスポート	10
5. Adobe InDesign での操作	12
5.1 プラグインの設定。	12
5.2 XML の読み込み。	14
5.3 その他	16
別紙 1: 印刷オプション設定。	17

1.概要

- ・この手順書は OJS(Open Journal Systems)の印刷データ作成機能と DTP ソフトウェア (Adobe InDesign)を利用し、冊子を印刷・製本するために必要な Adobe InDesign からの出力ファイル(indd ファイル)を作成するまでの操作手順が記述されています、その後、作成された indd ファイルを印刷所へ送付することで、冊子化を行うことができます。

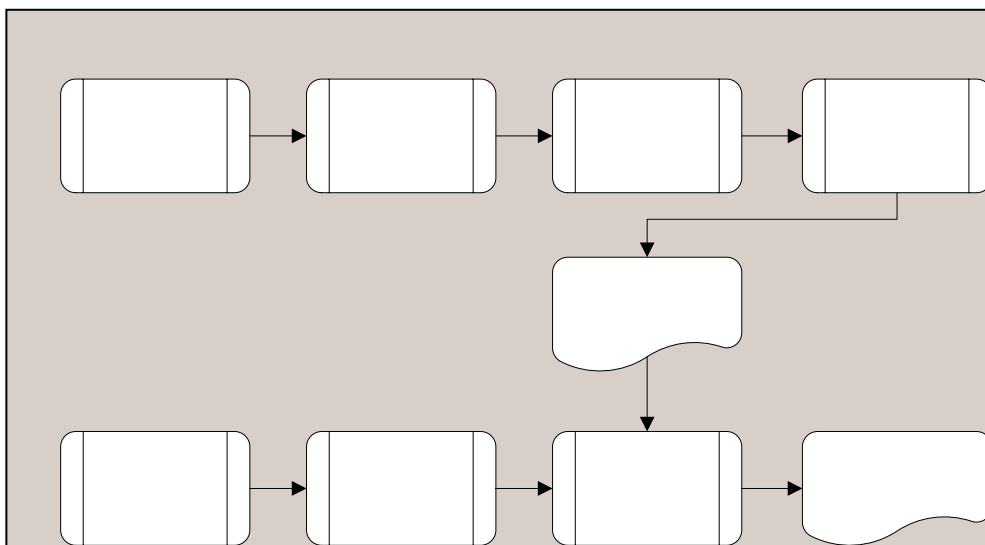
2.事前準備

- ・操作を行う前に、下記の準備ができていることを確認してください。
 - 1.OJS Ver.2.2.4 システム (InDesign 用 XML 出力プラグインが組み込まれていること)
 - InDesign 用 XML 出力プラグインは「OJS を利用した電子出版サービスの開発」での成果物を利用しています。
 - 2.Web ブラウザーがインストールされた PC 環境から OJS へアクセス可能なこと。
 - 3.Adobe InDesign (CS3 or CS4)がインストールされている PC 環境が利用できること。

※2.と 3.については、XML ファイルの共有が可能であれば、必ずしも同一 PC 環境でなくても作業が可能です。

3.全体説明

- ・本マニュアルでは、冊子作成作業の一例として OJS から対象電子ジャーナル(本マニュアルでは、例としてモデル雑誌「蔦」を使用)の indd ファイルを作成するまでの流れが記述されています、操作内容は OJS での操作と Adobe InDesign での操作に分かれており、まず最初に OJS 側で InDesign 入力用 XML ファイルのエクスポートを行い、そのファイルを用いて InDesign へ読み込み、ファイルの保存、冊子作成用の indd ファイルの作成を行うことができます。



【注意】

- ・②の「キャッシュクリア」は、OJS サイト管理者権限でのログインが必要です。
- ・⑦の「XML 読み込み」については、Adobe InDesign 用 XML ファイル読み込みに対応した、Javascript ファイルをプラグインとして InDesign へ設定する必要があります。
→「5.1 プラグインの設定」を参照。

4. OJS での作業

- ★以下の操作は Web ブラウザー「Firefox3.6」での作業を想定して記述されています。

【OJSでの操作 →】

4.1. OJS へのログイン

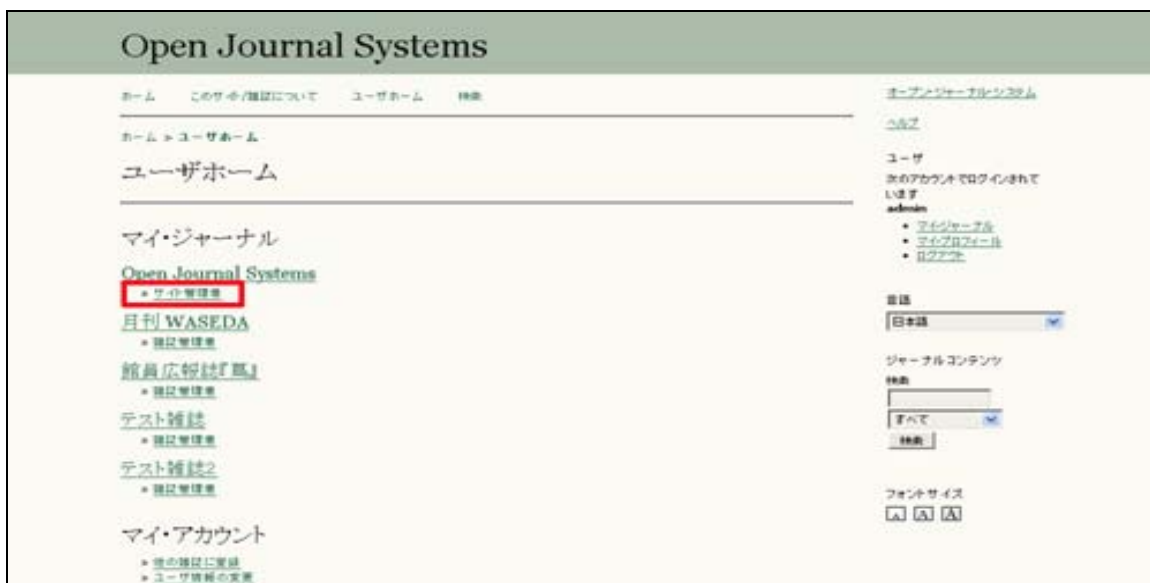
1.OJS システムへアクセスし、ユーザー名とパスワードを入力後、「ログイン」ボタンを押してください、また、「キャッシュのクリア」操作を行う場合は、サイト管理者権限が必要ですので、その権限があるユーザーでログインを行ってください。



2.ログインに成功すると、ユーザーホーム画面が表示されます。

(以下の操作ではサイト管理者権限でのユーザーホームを前提として記述されています)

3.InDesign 用 XML データの出力を行う前に「キャッシュのクリア」操作を行う必要がありますので、以下、サイト管理者権限の画面から「Open Journal Systems」の「サイト管理者」リンクをクリックしてください。



4.2.キャッシュのクリア

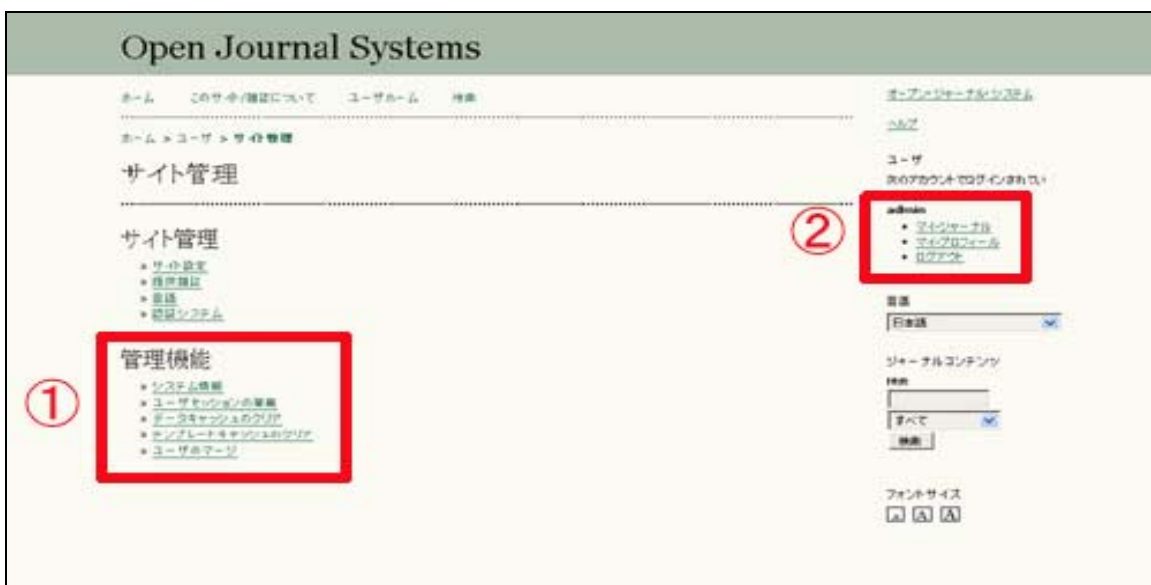
★InDesign 用 XML データをエクスポートする前に、「データキャッシュ」と「テンプレートキャッシュ」のクリアを行います、キャッシュのクリア操作については、何時、何度行っても問題ありません。

★キャッシュのクリアについて、「データキャッシュのクリア」はインポート・エクスポート画面のリフレッシュを行います、「テンプレートキャッシュのクリア」は、個別のエクスポート画面や印刷指示画面のリフレッシュを行います。

1.下記、画面例中の「①」を参考に、管理機能「データキャッシュのクリア」と「テンプレートキャッシュのクリア」リンクを順番にクリックしてください。

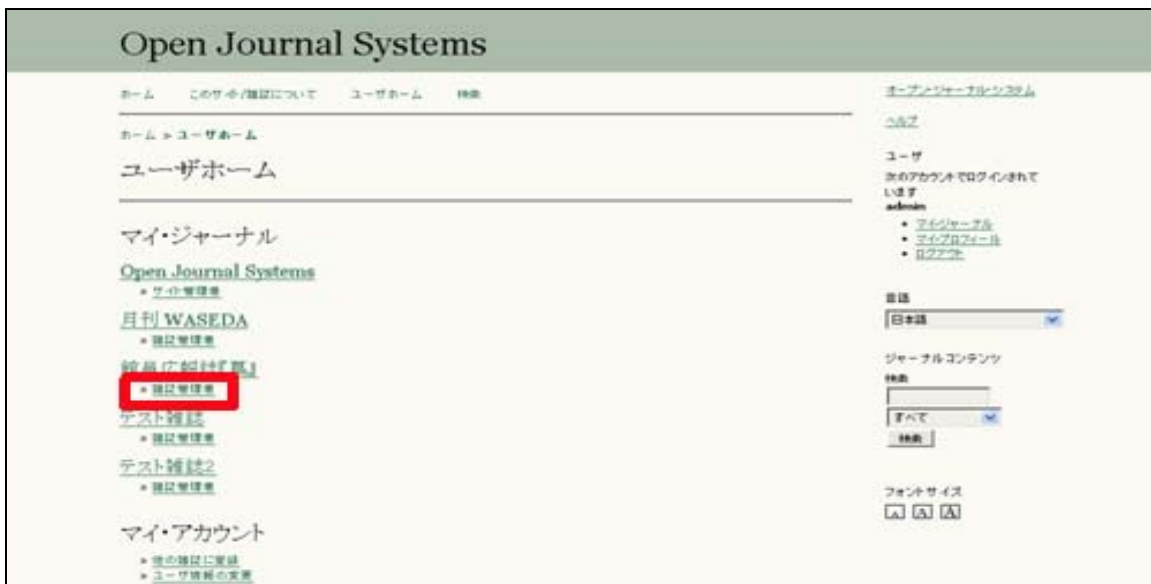
「データキャッシュのクリア」を押した場合、画面上には特に何もメッセージは表示されませんが、「テンプレートキャッシュのクリア」を押した場合は、「コンパイル済みテンプレートのキャッシュをクリアしてもよいですか」の選択肢が表示されますので、クリアする場合は「OK」ボタンを押してください。

2.キャッシュクリア後、画面例中の「②」を参考に「マイ・ジャーナル」リンクをクリックし、ユーザーホーム(ログイン直後の画面)へ戻ってください。



4.3. エクスポート用雑誌選択

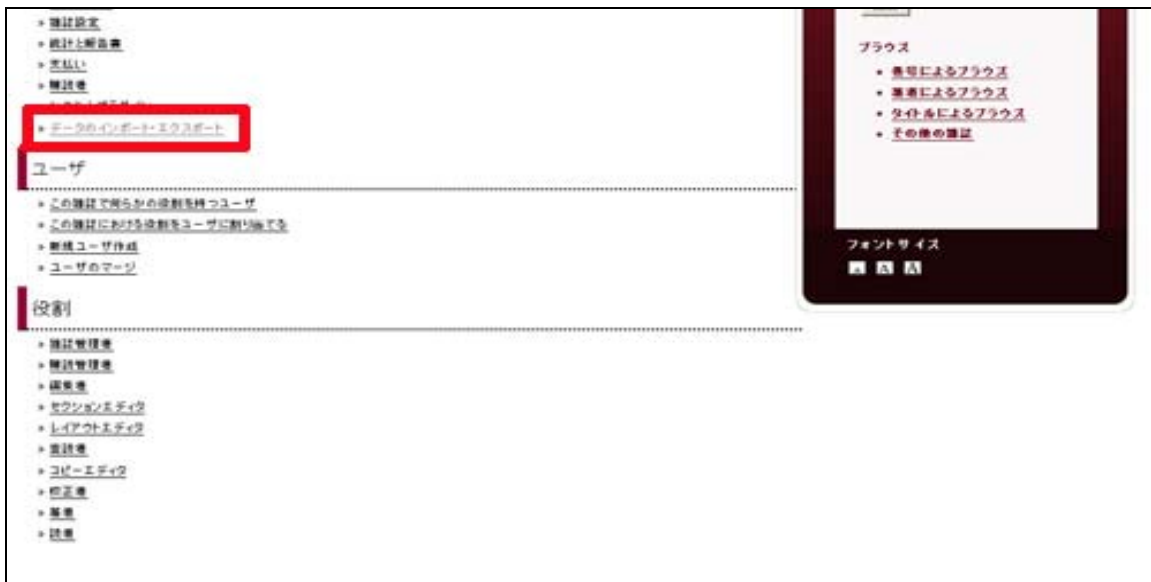
1. ユーザーホーム画面のマイ・ジャーナルから、対象電子ジャーナル名(ここでは、「館員広報誌 蔦」)の下にある、「雑誌管理者」リンクをクリックしてください。



2. 対象電子ジャーナルの雑誌管理画面が表示されます。



3.表示された雑誌管理画面を下にスクロールし、以下の画面例を参考に「管理ページ」の中から、「データのインポート・エクスポート」リンクをクリックしてください。



4.そうすることで、「データのインポート・エクスポート」画面が表示されます、続けて以下の画面例を参考に「InDesign 用エクスポートプラグイン」のリンクをクリックしてください。



5. エクスポート用の雑誌選択画面が表示されますので、InDesign 用の XML 出力を行うデータを選択してください。以下の画面例を参考に、該当する項目の横にあるチェックボックス「図中の①」をクリックし、チェックマークが付いたのを確認後、選択した項目の横にある「エクスポート」リンク「図中の②」をクリックしてください。

★★ または ★★

画面下部にある「エクスポート」ボタンを押しても、上記(エクスポートリンク)と同様に次画面へ進むことができます。

4.6 XML エクスポート

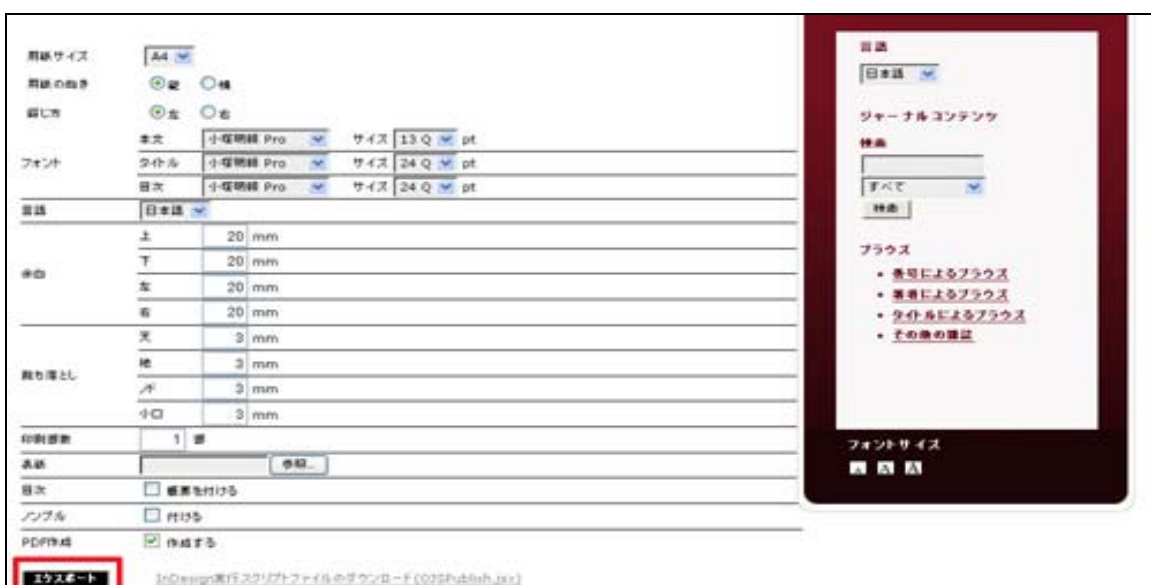
1.前項の手順「エクスポート」リンク、または「エクスポート」ボタンを押すことにより、InDesign XML 出力用の「印刷設定画面」が表示されます。



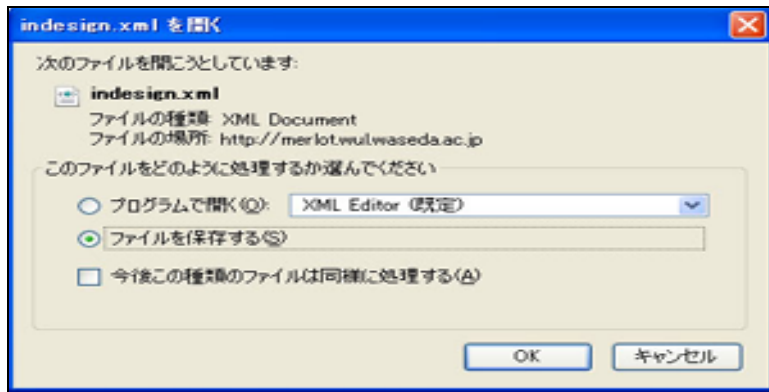
2.画面を下にスクロールし、各種印刷設定を行った後、画面下部にある「エクスポート」ボタンを押してください。

→ 印刷設定については「別紙 1: 印刷オプション設定」を参照してください。

※以下、画面例では、初期設定表示から、「ノンブル」のチェックボックスを外し、「PDF作成」のチェックボックスを On にした状態となっています。



- 3.印刷設定を行った後、画面下部にある「エクスポート」ボタンを押すことにより、データ保存用のダイアログボックスが表示され、InDesign 用 XML データが出力されますので適切な場所を選択しデータの保存を行ってください。



- 4.以上で InDesign 用 XML データの出力操作は完了です、次は、出力された XML ファイルを用いて、InDesign 上での indd ファイル作成操作を行ってください。

5. Adobe InDesign での操作

★以下の操作は「Adobe InDesign CS4 6.0」での作業を想定して記述されています。

5.1 プラグインの設定。

★OJS からエクスポートした InDesign 用の XML ファイルを読み込むためには、ファイルを読み込むためのスクリプト(OJSPublish.jsx)を InDesign に組み込む必要があります。

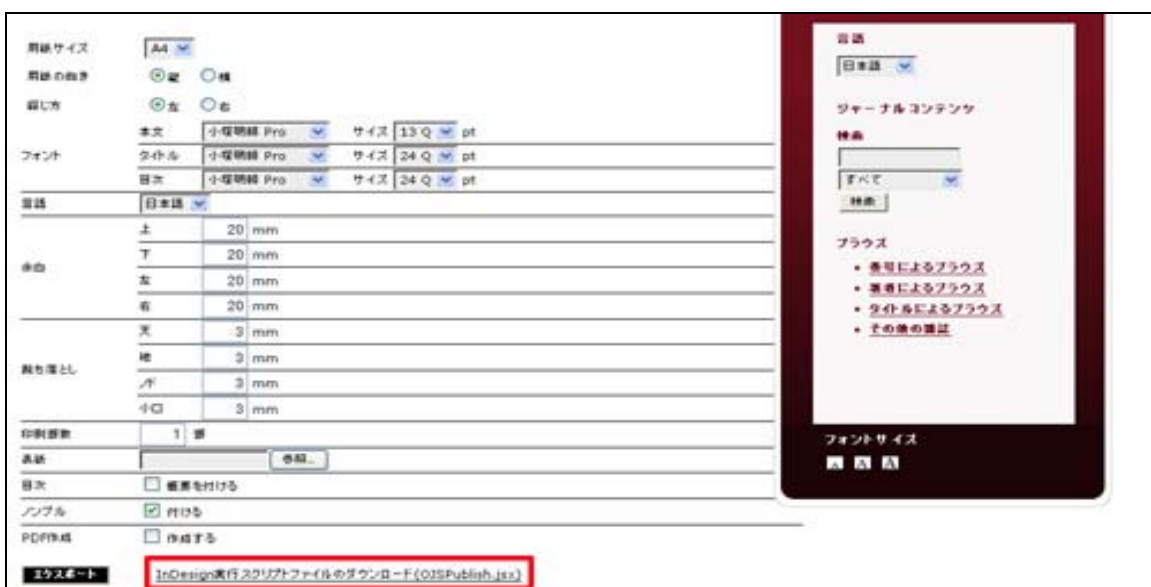
【 プラグインファイル 】

ファイル名: OJSPublish.jsx

(InDesign 用 XML 出力プラグインが組み込まれている OJS からダウンロードが可能)

1. プラグインファイルのダウンロード方法

本マニュアルの「2.6 XML エクスポート」部分を参照し、印刷設定画面下部にある「InDesign 実行スクリプトファイルのダウンロード(OJSPublish.jsx)」リンクをクリックし、スクリプトファイルを PC へ保存してください。



2.Adobe InDesign への組み込み方法(1)

プラグインファイルは InDesign の規定フォルダーとして、各システムごとに下記の場合に配置してください。また下記フォルダーが無い場合は、「3.Adobe InDesign への組み込み方法(2)」の方法で操作してください。

Macintosh	ユーザー/(ユーザー名)/ライブラリ/Preferences/Adobe InDesign/(バージョン)/Scripts
Windows XP	Documents and Settings¥[ユーザー名]¥Application Data¥Adobe¥InDesign¥[バージョン]¥Scripts
Windows Vista	ユーザー¥[ユーザー名]¥AppData¥Roaming¥Adobe¥InDesign¥[バージョン]¥Scripts

3.Adobe InDesign への組み込み方法(2)

プラグインの規定フォルダーが見つからない場合は、以下の操作でプラグインファイルを配置することができます。

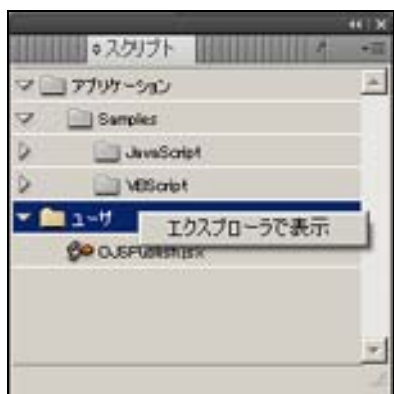
3.1 Adobe InDesign を起動。

3.2.以下のスクリプトパネルが表示されているのを確認。

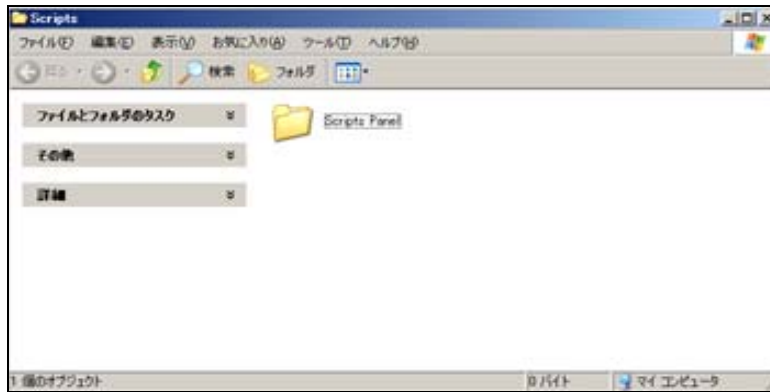
表示されていない場合は、InDesign のメニューから「ウィンドウ(W)→自動化(M)→スクリプト(S)」を選択し、スクリプトパネルを表示させてください。



3.3.次にスクリプトパネルの「ユーザー」フォルダー部分を、マウスで右クリックしてください、「エクスプローラで表示」メニューが表示されます。



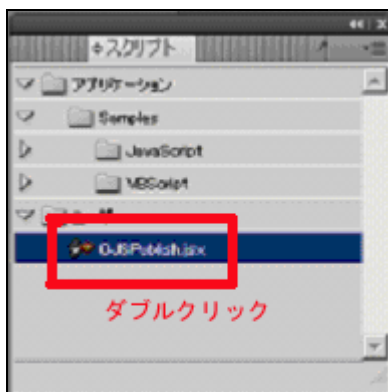
- 3.4. 「エクスプローラで表示」メニューを選択することで、エクスプローラが表示されますので、その中の「Scripts Panel」フォルダー内にプラグインを配置してください。



- 3.5. そうすることで、スクリプトパネル上に(3.2の画面のように)、「OJSPublish.jsx」が追加されます。

5.2 XML の読み込み。

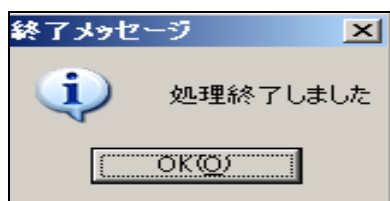
1. 「3.1 プラグインスクリプトの設定」で設定した「OJSPublish.jsx」を使用して、OJS からダウンロードした、InDesign 用の XML ファイルを読み込みます。
2. InDesign 上に表示されている、「スクリプトパネル」から、「OJSPublish.jsx」をダブルクリックしてください。



- 3.XML を選択する画面が表示されますので、OJS からダウンロードした、InDesign 用の XML ファイルを指定してください。



- 4.そうすることで、プラグインスクリプトが自動的に XML ファイルを解析し、InDesign 上に結果を表示します、以下の画面「処理が終了しました」が表示されたら、スクリプトの実行が終了です。



- 5.「OK」ボタンを押し、InDesign 上のメニュー「ファイル(F)→別名で保存(A)」から indd ファイルを保存してください。

6. 「別名で保存」を行うと以下のダイアログボックスが表示されますので、ファイル名に適切なファイル名を入力し、「OK」ボタンを押してください。



7. 以上で indd ファイルの作成は完了です。

5.3 その他

1. OJSPublish.jsx スクリプト実行中に処理された、PDF ファイル本体は下記のディレクトリへ保管されています。

・ディレクトリ名: C:¥OJS_PDF¥

2. 作成された indd ファイルを別の PC 上の InDesign で開く場合、上記 1.のディレクトリ「C:¥OJS_PDF」と「2.6 XML エクスポート」時の「印刷設定画面」でロゴファイルを設定した場合はそのファイルを、それぞれ同一の場所にファイルやディレクトリを配置しないと、indd ファイルを開いたときに画像やフォントが綺麗に再現されない場合があります。

別紙 1: 印刷オプション設定。

No.	項目	項目値の説明と作用
1	用紙のサイズ	A4,A5 より選択。ページサイズをそれぞれの用紙サイズに設定。
2	用紙の向き	縦、横のいずれかを選択。
3	綴じ方	右(綴じ)、左(綴じ)より選択。
4	フォント	小塚明朝 Pro、小塚ゴシック Pro より選択。 本文(論文)タイトル、目次(各タイトル)毎に設定する。
5	フォントサイズ	13Q、16Q、24Q より選択。 本文(論文)タイトル、目次(各タイトル)毎に設定する。
6	言語	日本語、英語より選択。 それぞれの言語用に登録した論文に対し、選択した言語の論文を本文として出力。
7	余白(マージン)	上、下、左、右毎に設定。単位: mm
8	裁ち落とし	天、地、ノド、小口毎に設定。単位: mm
9	印刷部数	InDesign から印刷する際の印刷ダイアログ表示時の初期値。 ※作成した PDF では、印刷部数は 1 固定です。
10	表紙	表示イメージとなる画像ファイルのファイルパス。 ※ 1: gif、jpg ファイル、1 ページ目のマージンを除いた領域いっぱいに画像が貼り付けられます、画像ファイルが見つからない場合、無地になります。 ※ 2: 表示の決められた位置に雑誌タイトル、作者名が表示されます。
11	目次	概要を付けるかどうかを設定する。 概要を付ける場合、各目次の下に概要を表示する。
12	ノンブル	ノンブルを作成するかどうかを設定する。 ※本文部分に対し、1 ページ目から振られます。
13	PDF 作成	InDesign 実行スクリプト実行時に、併せて PDF ファイルを作成するかどうかを設定する。 ※InDesign 上のファイルはメニューから何時でも PDF に書き出すことが可能です。